

平成 27 年度 メディカルサポート部 バスケットボール競技 メディカルサポート活動報告

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととご拝察申し上げます。平成 27 年度メディカルサポートの際は、多くの先生方に御参加いただき誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

平成 27 年度の群馬県高校バスケットボールのメディカルサポート活動について、以下にご報告させていただきます。

1. メディカルサポート概要

1) 参加大会

下記 4 大会（すべて県内大会）全 162 試合に参加した。

第 69 回関東高等学校バスケットボール選手権大会県予選会（県総体）	: 2 日間 32 試合
第 68 回全国高等学校総合体育大会県予選会（インターハイ）	: 2 日間 30 試合
第 46 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会（選抜大会）	: 3 日間 40 試合
第 26 回関東高等学校バスケットボール新人大会県予選会（新人大会）	: 4 日間 60 試合

2) サポート内容

各大会では、会場の一角にメディカルサポートブースを設営し、試合前後の依頼に対応した。また、試合中のサポートとしてスタッフがコート脇に待機し、試合中の傷害に対応した。更に、会場にて日本バスケットボール協会ジュニア向け外傷予防プログラムの掲示やハンドアウトの配布といった傷害予防の啓発活動を昨年度に引き続き行った。

3) 参加スタッフ数

メインスタッフは延べ 39 名（実数 14 名）、アシスタントスタッフは延べ 49 名（実数 23 名）であった（表 1）。

4) 対応件数

平成 27 年度の選手の対応件数は男子 47 件、女子 8 件、計 55 件であった（表 1）。

表 1 メディカルサポート概要（選手のみ）

	日数 (日)	試合数 (試合)	スタッフ数 (名) メイン / アシスタント	対応件数 (件)	対応回数 (回)
県総体	2	32	7 / 11	16	35
インターハイ	2	30	10 / 8	15	46
選抜大会	3	40	10 / 12	11	28
新人大会	4	60	12 / 18	13	34
計	11	162	39 / 49	55	143

5) 対応回数

平成 27 年度の選手の対応回数は計 143 回であった（表 1）。

2. メディカルサポートの対応内容（選手のみ）

対応内容は、テーピング 44 回、ストレッチ 25 回、アイシング 30 回、止血処置 2 回、徒手療法 12 回、傷害確認・対処方法の指導 24 回、その他 6 回であった（表 2）。

表 2 対応内容

	テーピング	ストレッチ	アイシング	止血処置	徒手療法	(A)	その他	計
県総体	8	14	4		1	5	3	35
インターハイ	11	6	11	2	9	6	1	46
選抜大会	12	3	5			7	1	28
新人大会	13	2	10		2	6	1	34
計（回）	44	25	30	2	12	24	6	143

(A)：傷害確認・対処方法の指導

3. 傷害内容と傷害部位（選手のみ）

4 大会総計では、関節構成体損傷が 19 件、筋痙攣が 14 件、筋・腱損傷が 10 件、打撲が 9 件と多くみられた。特に多いものとしては、下腿の筋痙攣、足関節の関節構成体損傷が各 13 件、膝関節の筋・腱損傷が 6 件、手指の関節構成体損傷、大腿部の打撲が各 5 件であった（表 3）。

表 3 傷害部位別件数

	顔面	胸腹部	手指	腰部	股関節	大腿部	膝関節	下腿	足関節	足趾	計
関節構成体損傷			5				1		13		19
筋痙攣						1		13			14
筋・腱損傷				2	1	1	6				10
打撲		2		1		5	1				9
出血	1										1
脳震盪	1										1
判断不能										1	1
計	2	2	5	3	1	7	8	13	13	1	55

4. 勉強会

昨年度より継続して、各大会前に勉強会を開催した。テーピングや RICE 処置、脳震盪の対応などスポーツ現場に即した実践的な知識や対応について学んでもらうことや、メディカルサポートだけでなくスポーツ理学療法について興味を持ってもらうことを目的に開催した。

1) 県総体前勉強会

【日時】平成 27 年 5 月 13 日（水）19 時 30 分～21 時 30 分

【会場】高崎健康福祉大学 3 号館 1 階 運動学実習室

【内容】メディカルサポート概要、ワークショップ～症例検討～、懇親会

【受講料】500 円 【参加人数】13 名 【スタッフ】大河原、奥井、小林、野中、金城

2) インターハイ前勉強会

【日時】平成 27 年 6 月 10 日（水）19 時 30 分～21 時 30 分

【会場】高崎健康福祉大学 3 号館 1 階 運動学実習室

【内容】メディカルサポート概要、RICE 処置、テーピング講習（捻挫の症状緩和・予防目的の足関節）、懇親会

【受講料】1000 円 【参加人数】10 名 【スタッフ】大河原、奥井、小林、野中、金城

3) 選抜大会前勉強会

【日時】平成 27 年 10 月 15 日（木）19 時 30 分～21 時 30 分

【会場】高崎健康福祉大学 3 号館 1 階 運動学実習室

【内容】出血・歯のトラブルに対する対応、テーピング講習（ACL 予防目的の膝関節）、懇親会

【受講料】2200 円 【参加人数】16 名 【スタッフ】大河原、奥井、小林、金城

4) 新人大会前勉強会

【日時】平成 28 年 1 月 8 日（金）19 時 30 分～21 時 30 分

【会場】群馬大学医学部保健学科西棟 2 階 運動療法室

【内容】国体の帯同報告、メディカルサポートにおける脳震盪について、シミュレーション実習

【受講料】500 円 【参加人数】17 名 【スタッフ】大河原、奥井、江原、小林、金城

5. まとめ

平成 27 年度の群馬県高校バスケットボールメディカルサポートは、昨年度より継続して各大会での 4 回戦以降のサポート活動を実施した。4 回戦時点ではトレーナーが帯同していない高校も多く、また優勝高校であっても、トレーナーが帯同していない場合がみられた。それらの高校に対して、試合前・後の傷害予防・症状緩和や、試合中の傷害に対する応急処置を実施することで、メディカルサポートとして選手のコンディショニングに貢献できたのではないかと考える。また新人大会より、試験的ではあるが脳震盪が発生した場合の対応についてフローチャート表や対応シート表を作成した。脳震盪はセカンドインパクト症候群など脳損傷を生じるリスクがあるため、来年度も継続して対応を行っていきたい。

同様に、傷害予防啓発活動も実施した。少人数ではあったが、傷害予防に興味を持ち、足を止めてくれた選手や観客の方々に対して、説明やハンドアウトの配布などを行うことができたと考える。

昨年度の勉強会と比べ、本年度ではテーピングや RICE 処置といった対応数の多い内容の他に、前述の脳震盪や、出血、歯のトラブルといった発生頻度は少ないが試合中に起こりうる傷害についても講義を実施した。メディカルサポートの現場ではこれらの傷害に対しても対応を行う可能性があるため、冷

静に対応ができるよう、継続して講義していきたいと考える。

来年度も今年度同様、県内大会における4回戦以降のサポート活動や大会前の勉強会を継続していき、更なるサポートの充実を図っていく必要があると考える。さらに、傷害予防啓発活動については、大会会場での活動のみならず、依頼のあった学校へ訪問し講習を行うなど、徐々に活動範囲を拡大していきたいと考える。

群馬スポーツリハビリテーション研究会
メディカルサポート部バスケットボール競技委員会
大河原、奥井、江原、小林、金城